

経済教育委員会

視察先 徳島県

日程 10月13日～16日

旅費 1人当たり12万円

徳島県つるぎ町

南風原町との子ども交流を知る

南風原町の小中学生が夏休みにつるぎ町でサマーキャンプを行っています。半田中学校を回り、子どもたちと同じ目線で交流事業を見る機会になりました。

積極的な交流は子どもたちの教育や人材育成に有意義であると確認しました。



3年目の交流を終えた半田中学校(つるぎ町)



木のぬくもりを感じる認定こども園(美馬市)

徳島県美馬市

認定こども園の子育て支援

美馬市の江原認定こども園を視察しました。徳島県で初めて認定されたこども園です。

認定こども園のメリットに保育に欠けない園児の受け入れがあります。地域の交流・相談窓口として子育て支援の場としての位置付けがありました。

保育と教育の連携や職員確保が重要と確認しました。本町の子育ての現状と合うかを確認しながら調査を進めていきます。

徳島県徳島市

図書館で電子図書を貸出

本町の図書館は蔵書数に課題があります。そこで徳島市立図書館の電子図書貸出を調査しました。

電子図書は多額の費用を要します。電子図書コンテンツの確保や拡充が課題と確認しました。

また、著作権等で閲覧数の制限がありました。学校等で複数人が一緒に閲覧できないと知りました。今後必要と効果を含め調査が必要と感じました。

徳島県小松島市

農林水産物のブランド戦略

小松島市は六次産業の取組に積極的でした。

新たなブランドを生み出す人材育成に力を入れていきます。支援金に1件当たり25万円を支給し、完成品は協働でPRします。商品開発から販売経路までが確立されていると感じました。

イベントや商品開発の成功には、まち全体の連携が重要であると感じました。



「ものづくり」のみでなくパッケージに「買いたくなる」工夫でブランド化を推進(小松島市)